

(参考資料) カーボンオフセット年賀について

1. 「カーボンオフセット年賀」の概要

日常生活の中で自らの努力だけではどうしても削減しきれないCO₂などの温室効果ガスを、地球温暖化防止を推進する世界各地のクリーンエネルギー事業などを支援し、CO₂を削減することにより打ち消す(Offset)仕組みがカーボンオフセットという考え方です。

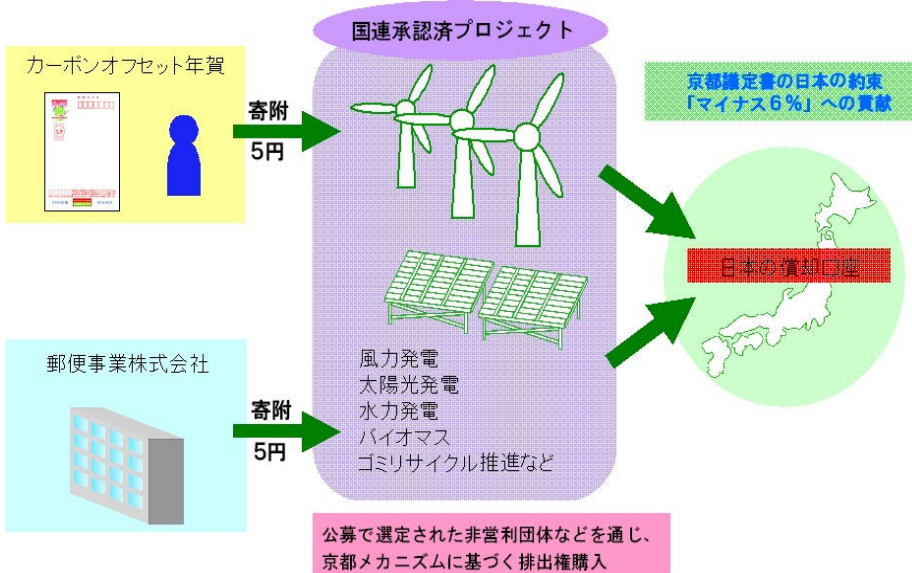
このカーボンオフセットの仕組みを、日本中のほとんどの人々が、年頭に手にする「年賀葉書」という日本で最大規模のコミュニケーションツールに取り入れ、全国の津々浦々の方々が、個人レベルで京都議定書に定められた日本の温室効果ガス排出削減目標である「マイナス6%」の達成に貢献できるのが「カーボンオフセット年賀」です。

カーボンオフセット年賀は、販売価格 55 円のうち 5 円が寄附金となり、地球温暖化防止を推進するプロジェクトを支援し、京都議定書で定められた日本の温室効果ガス削減目標である「マイナス 6%」の達成に貢献する寄附金付お年玉付郵便葉書です。集まった寄附金は、非営利団体を通じて、途上国の CDM 事業(国連で承認されたクリーン開発メカニズム)に拠出し、排出権を取得します。協力いただく非営利団体は毎年公募の上、社外有識者による審査委員会により決定され、取得した排出権は日本政府の償却口座に移転、日本の温室効果ガス削減分に組み込まれる仕組みです。

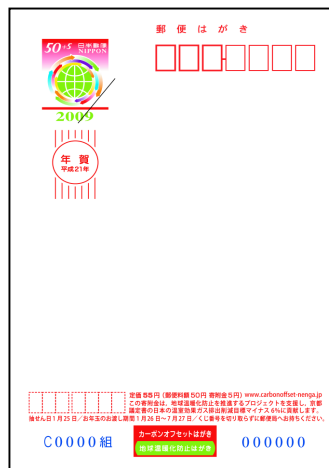
平成 20 年用カーボンオフセット年賀では、お客さまの寄附金と郵便事業株式会社からの同等額の寄附金をあわせて、38,175 トンの排出権を取得し、日本政府管理口座へ移転(償却)することにより、京都議定書の約束であるマイナス6%の達成に貢献しました。

カーボンオフセット年賀は、地球温暖化防止を啓発する有益なコミュニケーションツールの役割も備えています。この年賀を送る人は、寄附金により「マイナス 6%」の達成に貢献するとともに、地球温暖化防止への意識を持って行動していることを伝えることができます。また、これを受け取った人は、地球温暖化防止へのメッセージを受け取ることで、地球温暖化防止の意識を高めることができます。

2. 「カーボンオフセット年賀」寄附金の流れ



3. 「カーボンオフセット年賀」デザイン



別添資料): 平成 21 年度年賀寄附金及びカーボンオフセット年賀寄附金配分団体の公募 プレスリリース